

大阪の中小ネットワーク

航空機参入で新会社

由良産商
など5社 次世代用部品を生産

次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)、事務局・大阪市西区、田中弘一会長、田中会長、06-6443-3855)は4日、会員5社共同で航空機部品の一貫生産を行うための新会社を設立すると発表した。新会社の社名はオー・ワイ・コープで、28日に設立予定。資本金は600万円、社長は由良産商(大阪市西区)の由良豊一社長が就任する。OWOは新会社設立で受注から納品までの一貫機能を果たすことで、中小企業にとってハードルの高い次世代航空機部品で納入を目指す。

OWOは航空機産業参入を目指す大阪府の中小企業の組織。由良産商、田中のほか3社は三陽鉄工(大阪市福島区)、中川鉄工(同城東区)、エスディ

ーシー(堺市堺区)。由良産商はネツやネツ部品、田中はチタンおよびステンレスポルト、三陽鉄工は超精密機械加工、中川鉄工は金属製品製造、エ

スディーシーはプラズマ窒化や真空熱処理加工をそれぞれ手掛けている。04年より研究会活動や米ボーイングをはじめとする国内外の工場見学会を通じ、航空機部品へ参入するためのスキルを磨いてきた。航空機メーカーは品質管理のため、単純

な仕掛かり部品でなく工程を完結した一貫生産システムを求めており、新会社の設立を決めた。

一貫生産システムでは合金の種類や熱処理など工程、品質、原価管理など各機能を統一管理することが必要となる。新会社はこの業務を手掛けるとともに、機体メーカーから個別に寄せられる要望の対応窓口も担当する。

OWOには5社以外にも約30社の会員があり、ゆくゆくはこれらメンバーも呼び入れる考えだ。